

シュッツ 「ヨハネ受難曲」 その2 受難物語部分

© Kenichi Yamagishi

ヨハネによる福音書第 18 章第 1 節～第 19 章第 30 節まで

ここでは、我々が使用する Arnold Mendelssohn(1855-1933, 有名な作曲家の従兄弟の子)校訂の楽譜の歌詞を載せる。校訂者によるコラール挿入場所も明記してある。冒頭&終曲合唱の歌詞対訳は挿入コラールと一緒に別ファイルとする。

校訂版の歌詞は、より古い楽譜、およびポール・ヒリアー指揮の CD についている歌詞とは異なる点が多い。シュッツの原歌詞は、ルターが生前最後に出版した 1545 年版聖書に近い言葉遣いを残している (当曲は 1655 年作曲)。

一方、ルター訳聖書 1710 年改訂版と、バッハの「ヨハネ受難曲」(1724 年作曲)の歌詞はほぼ同じと言って良い。(なお、バッハはイエスの埋葬=福音書第 19 章の最後第 42 節まで作曲しているが、シュッツはイエスの死までで曲を終えている。)

この校訂版楽譜の歌詞は、1710 年版聖書・バッハに近いがそれとも異なる所も多い。動詞の現在形を過去形にしたり (spricht → sprach)、古形の単語を現代語に直している (stund → stand など)。

以下に掲載する歌詞で、赤字は「シュッツ原歌詞と異なる所」、青字は「シュッツ原歌詞と同じだがバッハと異なる所」である。脇に小さいフォントで、S-はシュッツ原歌詞、B-はバッハの受難曲、1710-は 1710 年版ルター聖書の語を示した。

Da Jesus solches geredet hatte,

イエスはこれらのことを語り終えると、

B-「これらのことを語り終えると」を省略し、Jesus ging mit seinen Jüngern で曲を始めている。

ging er hinaus mit seinen Jüngern über den Bach Kidron;

弟子達とともに外へ出て、キドロン川の向こうへ渡っていった。

da war ein Garten, darein ging Jesus und seine Jünger.

S-Garte,B1710-Garten

そこには園があって、その中にイエスと弟子達は入っていった。

Judas aber, der ihn verriet, wußte den Ort auch;

イエスを裏切ったユダも、この場所を知っていた。

denn Jesus versammelte sich oft daselbst mit seinen Jüngern.

S,B-versammelte,1710-versammelte

というのも、しばしばこの場所で、イエスは弟子達とともに集まっていたからである。

Da nun Judas zu sich genommen hatte die Schare und der Hohenpriester und Pharisäer Diener,

そこに今、ユダは、兵士の部隊、および祭司長やファリサイ派から遣わされた従者を引き連れ

B1710-hatte genommen, B1710-Schar

kommt er dahin mit Fackeln, Lampen und mit Waffen.

たいまつ、ランプ、武器などを持ってやって来る。

S-kommt,B1710-kommt

※祭司長と大祭司……どちらも同じ単語 Hohenpriester である。(ギリシア語でも archiereus)。

祭司長は、ユダヤ人権力中枢における祭司貴族たちのことで、これは複数いる (die Hohenpriester)。

これに対し大祭司は、ローマの代官の下でユダヤ人社会の内政を任されていた政治的首長であり 1 人しかいない (der Hohenpriester)。

上の文では "der Hohenpriester Diener" と、Hohenpriester が 2 格でその定冠詞が der だから Hohenpriester は複数 (祭司長たちの) ということになる。

Als nun Jesus wußte alles, was ihm begegnen sollte, ging er hinaus und sprach zu ihnen:

その時には、イエスは自分に起こるべき事を全て承知しており、出て行って彼らに言った。

【Jesus】 Wen suchet ihr?

「あなた方は誰を探しているのか？」

Sie antworteten ihm:

彼らは答えた。

【Die Juden 合唱】 Jesum von Nazareth. 「ナザレのイエスを」

Jesus sprach zu ihnen: イエスは彼らに言った。 SB1710-spricht

【Jesus】 Ich bin's. 「私がそうだ」

Judas aber, der ihn verriet, stand auch bei ihnen. SB1710-stund
イエスを裏切ったユダもまた彼らの側に立っていた。

Als nun Jesus zu ihnen sprach: Ich bin's, wichen sie zurücke und fielen zu Boden.
イエスが彼らに『私がそうだ』と言った時、彼らは後ろに退いて地に倒れた。

Da fraget er sie abermal: イエスは再び彼らに尋ねた。 B-fragte

【Jesus】 Wen suchet ihr? 「あなた方は誰を探しているのか？」

Sie aber sprachen: 彼らは言った。

【Die Juden 合唱】 Jesum von Nazareth. 「ナザレのイエスを」

Jesus antwortet: イエスは答える。 B-antwortete

【Jesus】 Ich hab es euch gesagt, daß ich's sei. Suchet ihr denn mich, so lasset diese gehen!

「私がそうだと、あなた方に言った。あなた方が探しているのは私なのだから、この者達は行かせてやれ！」

Auf daß das Wort erfüllet würde, welches er saget: B-sagte

それは（イエスが上のように言ったのは）、彼が次のように語ったその言葉が果たされるためであった。

"Ich habe derer keinen verloren, die du mir gegeben hast." SB1710-der

『私は、あなたが私に与えた者を、誰も失わなかった』

Da hatte Simon Petrus ein Schwert und zog es aus und schlug nach des Hohenpriesters Knecht,
その時、シモン・ペテロは剣を持っていたので、それを抜き、大祭司の下僕に打ちかかり、

und hieb ihm sein recht Ohr ab; und der Knecht hieß Malchus.

彼の右の耳を切り落とした。その下僕の名はマルコといった。

Da sprach Jesus zu Petro: そこでイエスはペテロに言った。

【Jesus】 Stecke dein Schwert in die Scheide! 「剣を鞘に収めよ！

Soll ich den Kelch nicht trinken, den mir mein Vater gegeben hat?

父が私に与えたこの杯を、私は飲まずにいられようか？」

CHORAL②

Die Schar aber und der Oberhauptmann und die Diener der Juden nahmen Jesum

兵士の部隊、千卒長、そしてユダヤ人の従者達は、イエスを捕らえ

und **banden** ihn und fuhreten ihn auf's erste zu Hannas;

SB-bunden,1710-banden

彼を縛って、最初にハンナの所へ連れて行った。

der war des Kaiphas Schwäher, welcher des Jahres Hoherpriester war.

ハンナは、この年の大祭司であるカイファの舅であった。

※ハンナは「元」大祭司(在位 6-15)。大祭司退職後もハンナは「祭司長」として実権を手放さず、大祭司カイファ(在位 18?-36)は彼の傀儡だった。
マタイ福音書等では大祭司カイファ邸で行われたとされている「夜中の裁判」は、ヨハネ福音書では祭司長ハンナ邸で行われたと記載している。
イエス処刑に至る過程については、以下に見られる様々な細かい情報からしても、ヨハネ福音書のほうが正確であると思われる。

Es war aber Kaiphas, der den Juden riet,

カイファは、ユダヤ人たちに次のように助言したことがあった。

es wäre gut, daß ein Mensch **umbracht würde** für das Volk.

B-würde umbracht

一人の者が民のために殺されることは良いことだ、と。

Simon Petrus aber folgte Jesu nach und ein ander Jünger.

シモン・ペテロともう一人の弟子は、イエスの後について行った。

※この「もう一人の弟子」こそが「ペテロの否認」などについての情報源である。(十二使徒の一人ではない。)しかし彼に言及しているのはヨハネ福音書のみである。

Derselbige Jünger war dem Hohenpriester bekannt

この弟子は祭司長(=ハンナ)の知り合いで、

und ging mit Jesu hinein in des Hohenpriesters Palast.

イエスとともに祭司長の屋敷(の中庭)に入っていた。

Petrus aber **stand** draußen **vor** der Tür.

一方、ペテロは門の外で立っていた。

SB1710-stund

SB-für, 1710-vor

Da ging der andere Jünger, der dem Hohenpriester bekannt war,

すると祭司長の知り合いである(先ほどの)もう一人の弟子が、

hinaus und **redet** mit der Türhüterin und **führet** Petrum hinein.

B-redete, B-führete

出てきて、門番の女と話して、ペテロを中に導いた。

Da sprach die Magd, die Türhüterin zu Petro:

その時、その門番をしている下女がペテロに言った。

【Ancilla】 Bist du nicht auch dieses Menschen Jünger einer?

「あなたはあの人の弟子の一人ではありませんか？」

Er **aber** sprach: **aber** Petrus sprach: だが、ペテロは言った。

B1710-aber 無

【Petrus】 Ich bin's nicht.

「私はそうではありません」

Es **standen** aber die Knechte und Diener und hatten ein Kohlf Feuer gemacht, (denn es war kalt)

そこには下僕達や従者達が立っていて、炭火をおこして(寒かったので)

SB1710-stunden

und wärmten sich. Petrus aber **stand auch** bei ihnen und wärmte sich.

B1710-auch 無

暖まっていた。ペテロもまた彼らの側で暖まっていた。

SB1710-stund

Aber der Hohepriester **fragete** Jesum um seine Jünger und um seine Lehre. S-fraget,B1710-fragte
さて、祭司長ハンナは、イエスに、彼の弟子達や彼の教えについて詰問する。

Jesus **aber antwortet** ihm: イエスは彼に答えて言う。 B1710-aber 無,antwortete

SB-für、1710-vor

【Jesus】 Ich habe frei öffentlich geredet **vor** der Welt. 「私は自由に公然と、世に対して話してきた。

Ich habe allezeit gelehret in der Schule und in dem Tempel, da alle Juden zusammenkommen,
私はいつも、ユダヤ人皆が集まる講堂や神殿において教えてきて、

S-Verborgnen,1710-Verborgenen,B-Verborgnen

und habe nichts im **Verborgenen** geredet. 人に隠れて話すことはしてこなかった。

Was **fragest** du mich darum? にもかかわらず、お前達は私に何を問おうというのか?

S-fragst,B1710-fragest

Frage die darum, die gehöret haben, was ich zu ihnen geredet habe.

私が何を語ってきたかは、それを聞いた人たちに問え。

Siehe, dieselbigen wissen, was ich gesaget habe.

見よ、その人たちは私が何を語ったかを知っている。」

Als er aber solches redete, イエスがこう言った時、

gab der Diener einer, die dabei **standen**, Jesu einen Backenstreich und sprach:

彼の隣に立っていた従者の一人が、イエスに平手打ちを食らわせ言った。

SB1710-stunden

【Servus】 Solltest du dem Hohenpriester also antworten?

「お前は祭司長に対してそのような答え方をしてよいのか？」

Jesus **sprach**: イエスは言った。

B-also antwortete,1710-antwortete

【Jesus】 **Habe** ich übel geredt, so beweise es, daß es böse sei;

B-Hab,1710-Hab'

「私が悪いことを言ったのなら、何が悪いのか証明せよ。

habe ich aber recht geredt, was schlägest du mich?

しかし私が正しいことを言ったのなら、なぜ私を撃つのか？」

CHORAL③

Und Hannas sandte ihn gebunden zu dem Hohenpriester Kaiphas.

ハンナはイエスを縛って大祭司カイファのところへ送った。

※この後カイファ邸での事は何も記載無し

Simon Petrus aber **stand** und **wärmet** sich. Da sprachen sie zu ihm:

SB1710-stund

シモン・ペテロは立って暖まっていた。そこで人々は彼に言った。

B1710-wärmete

【Die Juden 合唱】 Bist du nicht seiner Jünger einer? 「お前は彼の弟子の一人ではないのか？」

Er verleugnete aber und sprach: ペテロは否認して言った。

【Petus】 Ich bin's nicht. 「私はそうではない」

Spricht des Hohenpriesters Knechte einer, 大祭司の下僕の一人も言う。

ein Gefreundter des, dem Petrus das Ohr abgehauen hatte:

彼は、ペテロに耳を切り落とされた者の友人である。

【Servus】 Sahe ich dich nicht im Garten bei ihm? 「私はお前が園で彼の側にいるのを見たんだが？」

Da verleugnet Petrus abermal; und also bald krähet der Hahn. B-verleugnete, B-alsobald krähet

ここでペテロが再び否認すると、すぐに鶏が鳴いた。

Da führten sie Jesum von Kaiphas vor das Richthaus, und es war früh. S-Kaipha für, B1710-Kaiphas vor

人々はイエスをカイファの所から総督官邸へ連れて行くと、早朝だった。

B-frühe

Und sie gingen nicht in das Richthaus, しかし人々は官邸に入らなかった。

auf daß sie nicht unrein würden, sondern Ostern essen möchten.

というのは、彼らは汚れることなく、過越の食事をしたかったからである。

Da ging Pilatus zu ihnen heraus und sprach: そこで総督ピラトは彼らの所へ出てきて言った。

【Pilatus】 Was bringet ihr für Klage wider diesen Menschen?

「お前達は、この男に対して何の罪で訴えをなすのか？」

Sie antworteten und sprachen zu ihm: 彼らは総督に答えて言った。

【Die Juden 合唱】 Wäre dieser nicht ein Übeltäter, wir hätten dir ihn nicht überantwortet.

「この者が犯罪者でなかったら、我々は彼をあなたに引き渡したりしない。」

Da sprach Pilatus zu ihnen: ピラトは彼らに言った。

【Pilatus】 So nehmet ihr ihn hin und richtet ihn nach eurem Gesetze.

「そうならば、お前たちが彼を引き取って、お前たちの律法に従って彼を裁け。」

Da sprachen die Juden zu ihm: するとユダヤ人たちはピラトに言った。

【Die Juden 合唱】 Wir dürfen niemand töten. 「我々には何人をも殺すことが許されていない。」

Auf daß erfüllet würde das Wort Jesu, welches er saget,

それはイエスが語った言葉が果たされるためであった。

B1710-sagte

B1710-deutete

da er deutet, welches Todes er sterben würde. 彼は自分がどのように死ぬかを示していたのである。

Da ging Pilatus wieder hinein in das Richthaus und rief Jesu und sprach zu ihm:

そこでピラトは再び官邸の中に入り、イエスを呼んで彼に言った。

【Pilatus】 Bist du der Juden König? 「お前はユダヤ人の王なのか？」

Jesus **antwortet:** イエスは答える。 B1710-antwortete

B1710-haben's dir, B1710-gesagt

【Jesus】 Redest du das von dir selbst, oder **haben dir es** andere von mir **gesaget**?
あなたは自分自身でそう言っているのか、それとも誰か別の者が私についてあなたにそう言ったのか？

Pilatus **antwortet:** ピラトは答える。 B1710-antwortete

【Pilatus】 Bin ich ein **Jude**? 「私がユダヤ人（のような人間だということ）か？」 B-Jüde,1710-Jude

Dein Volk und die Hohenpriester haben dich mir **überantwortet**; was hast du **getan**?
お前の民族と祭司長たち(複数)は、お前を私に引き渡した。お前は何をしたのだ？」

Jesus **antwortet:** イエスは答える。 B1710-antwortete

【Jesus】 Mein Reich ist nicht von dieser Welt. 「私の国はこの世のものではない。」

Wäre mein Reich von dieser Welt, meine Diener würden **drob kämpfen**,
もし私の国がこの世のものだったならば、私の従者たちが戦って

daß ich den Juden nicht **überantwortet** würde; aber nun ist mein Reich nicht von dannen.
私がユダヤ人に引き渡されないようにするだろう。しかし今は、私の国はここには無い。」

CHORAL④

Da sprach Pilatus zu ihm: ピラトはイエスに言った。

【Pilatus】 So bist du dennoch ein König? 「それではやはりお前は王なのか？」

Jesus **antwortete:** イエスは答えた。 S-antwortet,B1710-antwortete

【Jesus】 Du **sagst es**, ich bin ein König. 「あなたが言う(その通り)私は王である。 ※ 1710-sagst es, B-sagest's

※この部分、聖書のギリシア語原文は「私が王だということは、あなたが言っていることだ。」と訳するのが正しい。

Du **sagst es**は、マタイ福音書では3カ所出てくるが、ヨハネ福音書ではこの1カ所のみである。少なくともここでは、ルターは「お前の言うとおりで」との意味にも読めるよう、**ich bin ein König**との間に、意図的に何の接続詞も入れなかった。(しかし「お前の言うとおりで私は王だ」と明瞭に作文することもしなかった。)

Ich bin **dazu** geboren und in die Welt kommen, daß ich die Wahrheit zeugen soll.
私は真理を示すために、生まれ、この世に来たのだ。 S-darzu,B1710-dazu

Wer aus der Wahrheit ist, der **höret** meine Stimme. 真理からの者は私の声を聞く。」

Spricht Pilatus zu ihm: ピラトはイエスに言う。

【Pilatus】 Was ist Wahrheit? 「真理とは何か？」

Und da er das gesaget, ging er wieder hinaus zu den Juden und sprach zu ihnen:

ピラトはこう言うと、再びユダヤ人の所に出て行き、彼らに言った。 SB1710-spricht

【Pilatus】 Ich finde keine Schuld an ihm. 「私は彼に何の罪も見いださなかった。

Ihr habet aber eine Gewohnheit, daß ich euch einen auf Ostern losgebe;

ところで、過越祭にあたって私がお前たちに一人釈放してやる、というのがお前たちの慣習になっている。

wollet ihr nun, daß ich euch der Juden König losgebe?

B1710-wollt

今、お前たちは、私がお前たちにユダヤ人の王を釈放してやることを望むか？

Da schriegen sie wieder allesamt und sprachen: するとユダヤ人たちは再び、一人残らず叫んで言った。

【Die ganze Schar(群衆)合唱】 Nicht diesen, sondern Barrabam! 「この者ではなくてバラバを！」

Barrabas aber war ein Mörder. Da nahm Pilatus Jesum und geißelte ihn.

バラバとは殺人者だった。そこでピラトはイエスを引き出して、鞭で打った。

Und die Kriegesknechte flochten eine Krone von Dornen und setzten sie auf sein Haupt

兵士たちは茨の王冠を編んで、イエスの頭にかぶせ、 B1710-Kriegesknechte

und legten ihm ein Purpurkleid an und sprachen: 紫の衣を着せて、言った。

【Die Kriegesknechte(兵士達)合唱】 Sei gegrüßet, lieber Judenkönig!

「ごきげんよう、愛するユダヤ人の王よ！」

Und gaben ihm Backenstreiche. そしてイエスに平手打ちを食らわせた。

CHORAL⑤

Da ging Pilatus wieder heraus und sprach zu ihnen: ピラトは再び外へ出て彼らに言った。

【Pilatus】 Sehet, ich führe ihn heraus zu euch, 「見よ、私は彼をお前たちの前に連れ出した。

daß ihr erkennet, daß ich keine Schuld an ihm finde.

それはお前たちに、私が彼に何の罪も見いださないことを教えるためだ。」

Also ging Jesus heraus und trug eine Dornenkrone und Purpurkleid. Und er spricht zu ihnen:

こうしてイエスは外へ出されたが、茨の王冠と紫の衣はつけたままだった。ピラトは彼らに言う。

【Pilatus】 Sehet, welch ein Mensch! 「見よ、この人がどんなであるか！」

Da ihn die Hohenpriester und die Diener sahen, schriegen sie und sprachen:

祭司長と従者たちはイエスを見て、叫んで言った。

【Der ganze Haufe (全群衆) 合唱】 **Kreuzige ihn, kreuzige ihn!**

B1710-Kreuzige, kreuzige!

彼を十字架につけよ、彼を十字架につけよ！

Pilatus spricht zu ihnen: ピラトは彼らに言う。

【Pilatus】 Nehmet ihr ihn hin und kreuziget ihn; denn ich finde keine Schuld an ihm.

「お前たちが自分で彼を連れて行き、十字架につければよい。私は彼に何の罪も見いだせないのだから。」

Die Juden antworteten ihm: ユダヤ人たちはピラトに答えた。

【Die Juden 合唱】 Wir haben ein **Gesetze**, und nach dem **Gesetze** soll er sterben;

B1710-2回とも Gesetz

「我々は律法を持っている。そして律法によれば彼は死ぬべきである。

denn er hat sich selbst zu Gottes Sohn gemacht.

なぜなら、彼は自分を神の子と称したのだから。」

Da Pilatus das Wort hörte, fürchtet er sich noch mehr

ピラトはこの言葉を聞くと、より一層恐れて

und ging wieder hinein in das Richthaus und spricht zu Jesu:

再び官邸の中に入り、イエスに言う。

【Pilatus】 Von wannen bist du? 「お前はどこから来たのか？」

Aber Jesus gab ihm keine Antwort. しかしイエスは何も答えなかった。

Da sprach Pilatus zu ihm: そこでピラトはイエスに言った。

【Pilatus】 Redest du nicht mit mir? Weißt du nicht,

お前は私に何も言わないのか？ お前は知らないのか？

daß ich Macht habe, dich zu kreuzigen, und Macht habe, dich loszugeben?

私はお前を十字架につける権限も、お前を解放してやる権限も持っているのだ、ということ。

Jesus **antwortet**: イエスは答える。

B1710-antwortete

【Jesus】 Du hättest keine Macht über mich, wenn sie dir nicht wäre von oben herab gegeben;

「あなたは私について何の権限も持っていない。もしあなたが（その権限を）天から与えられたのでなければ。

darum, der mich dir überantwortet hat, der **hat es** größere Sünde.

B-hat's

だから、私をあなたに引き渡した者、その者にはより大きな罪がある。」

Von dem an trachtete Pilatus, wie er ihn losließe. Die Juden aber schriegen und sprachen:

これ以後、ピラトはどうにかしてイエスを解放しようと努めた。しかしユダヤ人たちは叫んで言った。

【Die Juden 合唱】 Lässest du diesen los, so bist du des Kaisers Freund nicht;

「この者を解放するならば、あなたは皇帝の友ではない。」

denn wer sich zum Könige machet, der ist wider den Kaiser.

なぜなら、自らを王と称する者は、皇帝に逆らっているのだから。」

Da Pilatus das Wort hörte, führte er Jesum heraus und setzte sich auf den Richtstuhl,

ピラトはこの言葉を聞くと、イエスを外に連れ出し、裁判の席についた。

an der Stätte, die da heißt Hochpflaster, auf hebräisch aber Gabbatha.

その場所は「高い敷石」、ヘブライ語で「ガパタ」といった。

Es war aber der Rüsttag in Ostern um die sechste Stunde. Und er spricht zu den Juden:

それは過越の準備の日の第六時（昼の十二時）だった。ピラトはユダヤ人たちに言う。

【Pilatus】 Sehet, das ist euer König! 「見よ、これがお前たちの王だ！」

Sie schrieen aber: しかし彼らは叫んだ。

【Die Juden 合唱】 Weg, weg mit dem, kreuzige ihn! 「その者を去らしめよ、彼を十字架につけよ！」

Spricht Pilatus zu ihnen: ピラトは彼らに言う。

【Pilatus】 Soll ich euren König kreuzigen? 「私がお前たちの王を十字架につけてよいのか？」

Die Hohenpriester antworteten: 祭司長たちは答えた。

【Die Hohenpriester 合唱】 Wir haben keinen König denn den Kaiser.

「我々には王はいない、なぜなら皇帝を戴いているから。」

Da **überantwortet** er **ihnen**, daß er gekreuziget würde.

B1710-überantwortete, B-ihn

そこでピラトはイエスを引き渡した。彼が十字架につけられるために。

Sie nahmen aber Jesum und führten ihn hin. 彼らはイエスを引き取って連行していった。

S-Kreuze, B1710-Kreuz

B1710-zur

S-Schädelstätte, B1710-Schädelstätte

Und er trug sein **Kreuz** und ging hinaus **zu der** Stätte, die da heißt **Schädelstätte**,

イエスは自分の十字架を担ぎ、「髑髏(されこうべ)の場所」という場所へと向かった。

welche heißt auf hebräisch Golgatha. そこはヘブライ語で「ゴルゴタ」といった。

Allda kreuzigten sie ihn und mit ihm **zween** andere zu beiden Seiten, Jesum aber mitten inne.

その場所で、ユダヤ人たちはイエスを十字架につけた。イエスとともに2人をその両脇に、イエスを中央につけた。

S-zweene, B1710-zween

CHORAL⑥

Pilatus aber schrieb eine Überschrift und setzte sie auf das Kreuz;

ピラトは表書きを書き、それを十字架の上に掲げた。

und war geschrieben: "Jesus von Nazareth, der Juden König."

それにはこう書いてあった。『ナザレのイエス、ユダヤ人の王』と。

Diese Überschrift lasen viel Juden; denn die Stätte war nahe bei der Stadt, da Jesus gekreuziget ist.

この表書きは多くのユダヤ人たちが読んだ。なぜなら、イエスが十字架に架けられた場所は、市街地に近かったからである。

Und es war geschrieben auf hebräische, griechische und lateinische Sprache.

その表書きは、ヘブライ語、ギリシア語、そしてラテン語で書かれていた。

Da sprachen die Hohenpriester der Juden zu Pilato: そこでユダヤの祭司長たちはピラトに言った。

【Die Hohenpriester(祭司長たち)合唱】

Schreibe nicht: Der Juden König; sondern daß er gesagt habe: Ich bin der Juden König.

『ユダヤ人の王』と書くな。そうではなくて、『彼は、私がユダヤ人の王だ、と語った』としろ。」

Pilatus antwortet: ピラトは答える。

【Pilatus】 Was ich geschrieben habe, das habe ich geschrieben.

「私が書いたものは、私が書いた通りだ。(その通りにしておけ。)」

Die **Kriegesknechte** aber, da sie Jesum gekreuziget hatten,

B1710-Kriegsknechte

さて兵士たちは、イエスを十字架に架けてしまうと、

nahmen sie seine Kleider und machten vier **Teile**,

S-Teil, B1710-Teile

彼の衣服をとり、4つに分け、

einem jeglichen Kriegesknechte sein Teil, dazu auch den Rock.

各々の兵士がその一つをとると、"上着"も分けようとした。

※ドイツ語の Rock は「上着」である。しかし聖書のギリシア語原文ではこれが「肌着」となっている。

Der Rock aber war ungenähet, von oben an gewirket durch und durch.

しかし上着は縫い目がなく、上から下まで一枚で織られていた。

Da sprachen sie untereinander: そこで彼らは互いに言い合った。

【Die Kriegesknechte(兵士たち)合唱】

S-zuteilen,B1710-zerteilen

Lasset uns den nicht **zerteilen**, sondern darum losen, wes er sein soll.

「これは裂かないで、くじ引きして、誰のものにするか決めよう。」

(Auf daß erfüllet würde die Schrift, die da, saget:

それは、次のような聖書に書かれた言葉が果たされるためであった。

"Sie haben meine Kleider unter sich geteilet und haben über meinen Rock das Los geworfen.")

『彼らは私の衣を各々に分け、私の上着については籤に運命をまかせた。』

Solches **taten** die Kriegesknechte.

S-täten,B1710-taten

兵士たちはそのようにしたのだった。

Es **stand** aber bei dem Kreuze Jesu seine Mutter

SB1710-stund

さて十字架につけられたイエスの側に立っていたのは、彼の母、

und seiner Mutter Schwester, Maria, Kleophas Weib, und Maria Magdalena.

そして彼の母の姉妹でクレオファの妻であるマリア、そしてマグダラのマリアであった。

Da nun Jesus seine Mutter sahe und den Jünger dabei stehen, den er lieb hatte,

イエスは今、自分の母と、その側に立つ自分の愛する弟子を見て、

spricht er zu seiner Mutter: 母に対して言う。

【Jesus】 Weib, siehe das ist dein Sohn! 「女よ、見なさい、彼があなたの息子です。」

Darnach spricht er zu dem Jünger: その後、イエスはこの弟子に言う。

【Jesus】 Siehe, das ist deine Mutter! 「見よ、これがお前の母だ。」

Und von der **Stunde** an nahm sie der Jünger zu sich.

B1710-Stund'

この時からこの弟子は彼女を自分のもとに引き取った。

B1710-spricht

Darnach, als Jesus wußte, daß schon alles vollbracht war, daß die Schrift erfüllet würde, **sprach** er:

その後、イエスは全てが成し遂げられたことを知り、聖書（の預言）が成就するために言った。

【Jesus】 Mich dürstet! 「のどが渴いた」

Da **stand** ein Gefäße voll **Essig**. そこには酢が満たされた容器があった。 SB1710-stund, Essigs

Sie aber fülleten einen Schwamm mit **dem Essig** S-Essige, B1710-Essig(いずれも dem 無し)

人々は海綿に酢を染みこませると

S-Ysopen, 1710-Ysop, B-Isopen

und legten ihn um einen **Ysop** und **hielten's** ihm dar zum Munde.

B1710-hielten es

それをヒソプ(の枝)に付けて、イエスの口もとに保持した。

Da nun Jesus den Essig genommen hatte, sprach er:

イエスは酢を受けると、言った。

【Jesus】 Es ist vollbracht! 「成就した！」

Und neiget das Haupt und verschied. そして頭を傾け、亡くなった。

終曲へ

<若干の解説> マタイとヨハネのストーリーの違い

マルコ・マタイ・ルカの3つの福音書は、共観福音書と呼ばれている。マタイとルカは、マルコの話の基本にしつつも、イエスの発言等を（場合によっては正反対の内容にまで）書き換えたりして別の福音書を作り上げたものである。ただし、受難物語部分は、マルコ以前に形が定まっていた独立の物語をマルコがほぼそのまま取り入れたもので、マタイ・ルカもそれを受け継いでいる。（もちろん3者それぞれ独自の文にしている所もある。）

これに対して、ヨハネ福音書の著者は、マルコ福音書を知らなかったわけではなさそうだが、意識的にそれとは別の独自の物語を書いている。彼はエルサレムの地理や政治体制について、そしてまたイエスの死についても、上3者よりも詳しい情報を持っていたようだ。

ところがヨハネ福音書は、その原著者によって完成された後、教会的ドグマを盛り込みたい編集者グループによって多くの文章が挿入され、矛盾だらけの物語に改竄されてしまった。

ヨハネ福音書では第13章で"晩餐"となるが、そこには有名な聖体拝領の元となる話はない。（後述のようにその晩餐は"過越の食事"ではなく、その前日の"単なる夕食"である。）その代わり、そこでイエスが弟子たちの足を洗う話がある。（→洗足の木曜日。）また、イエスがペテロに対して「鶏が鳴く前に三度私を知らないと言うだろう」と話すのもここである。その後イエスは第14章から説教を始める。同章の最後で「さあ行こう」と言って晩餐の場から出るのかな、と思ったら、第15章から第17章までまた長い説教が続く。この長大な説教が教会的編集者グループによる挿入文なのである。これにより晩餐からのストーリーが繋がらなくなってしまい、受難曲は第18章の"逮捕"の場から作曲することを余儀なくされているのだ。

ヨハネでは、晩餐後の夜中にイエスが捕まってまず連行されるのが、大祭司カイファ邸ではなくその舅の祭司長ハンナ邸であり、そこでイエスの処分がほぼ決まる。その後連れて行かれるカイファ邸では何も記載事項が無い。ハンナとカイファの政治的関係が分かっていたヨハネ原著者の正確な記事である。ちなみに「この年の大祭司」という語句が出てくるが、これは制度に詳しくなかった教会的編集者グループによる書き足しである。大祭司は任期1年ではない。

裁判と十字架刑のスケジュールについては、ヨハネ福音書は共観福音書と決定的に異なる証言を残している。

ヨハネではまず、カイファ邸から総督ピラトの元へ連行した朝の記述で、ユダヤ人たちがまだ過越の食事を取っていないことがわかるし、昼の12時にピラトが判決を下すところでは「この日は過越の準備の日」だとハッキリ書いてある。そしてその翌日は「大いなる安息日」、すなわち「大きな祭日である過越祭が重なった安息日」である。

ユダヤの暦では日没で日付が変わり翌日となる。イエスとその両脇の2人は「過越の準備の日」の午後には十字架につけられたのだが、日没で「過越祭かつ安息日」になる前に死んでもらうため、両脇の2人は脚を折られる。しかしイエスは既に死んでいたため折られずに済んだ。（脇腹を槍で刺された話は編集者グループの付加。）

共観福音書では、イエスは過越の食事の後、その晩のうちに逮捕され、大祭司カイファ邸で裁判。早朝に総督ピラト邸に連行して即刻裁判（ピラトも大変！）。イエスは十字架をかついでゴルゴタまで歩いているはずなのに、午前9時には十字架に架けられている。これはいくらなんでも時間的に無理がありすぎる。（その後、昼の12時にあたりが暗くなり午後3時にイエスは死ぬ。遺体は折られたり刺されたりはしていない。その後すぐに埋葬。）

実はマタイ・マルコの受難物語冒頭部分では、イエスを殺そうと計っている祭司長たちが「祭りの間はいけない。民衆が騒ぐかもしれないから」と言い合っているのである。にもかかわらずその後、イエスが過越の食事をし、その晩の逮捕となるのは、どう考えてもおかしい。またマタイでは、イエス埋葬後、「明るむ日、(過越の)備えの日の翌日」に、人々がピラトに「墓を見張るよう命じよ」と言いに来た、とある。つまり、その日が過越だったということで、記述に破綻が見られる。

こうしてみると、受難物語部分についてはヨハネ(原著者)の記述のほうが共観福音書よりも全般的な内容に矛盾が無く、しかも詳しいと言えよう。

しかし、イエスの十字架上の最後の言葉は、マタイ・マルコの「わが神よ、どうして私をお見捨てになったのですか」が「歴史的事実」である。教会にとって都合が悪いこと（神の子イエスが神にクレーム！）を、教会関係者が作り話するはずがないからである。（ルカの「神よ、私の命をあなたにゆだねます」は明らかに作られた優等生発言だし、ヨハネの「成し遂げられた」に至っては神がかりすぎている。）